

クレジット:

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 松田陽

ライセンス:

利用者は、本講義資料を、教育的な目的に限ってページ単位で利用することができます。特に記載のない限り、本講義資料はページ単位でクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 ライセンスの下に提供されています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>

本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等を本講義資料から切り離して利用することはできません。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

学術俯瞰講義「文化資源、文化遺産、世界遺産」

文化遺産の復元

松田 陽

東京大学大学院人文社会系研究科
文化資源学研究室

川崎市の橘樹官衙遺跡群(7-10世紀)



川崎市の橘樹官衙遺跡群(7-10世紀)



川崎市の橘樹官衙遺跡群(7-10世紀)



藤枝市の志太郡衙跡(8-9世紀頃)



藤枝市の志太郡衙跡(8-9世紀頃)



府中市の武蔵国衙跡地区(奈良初から平安中期)



川崎市の橘樹官衙遺跡群(7-10世紀)



ヴェンタ・イケノールム Venta Icenorum (1世紀後半-5世紀初), Caistor St Edmund, 英国



ヴェンタ・イケノールム Venta Icenorum (1世紀後半-5世紀初), Caistor St Edmund, 英国





ヴェンタ・イケノールム Venta Icenorum (1世紀後半-5世紀初), Caistor St Edmund, 英国



ハイデントーア Heidentor (4th century), オーストリア

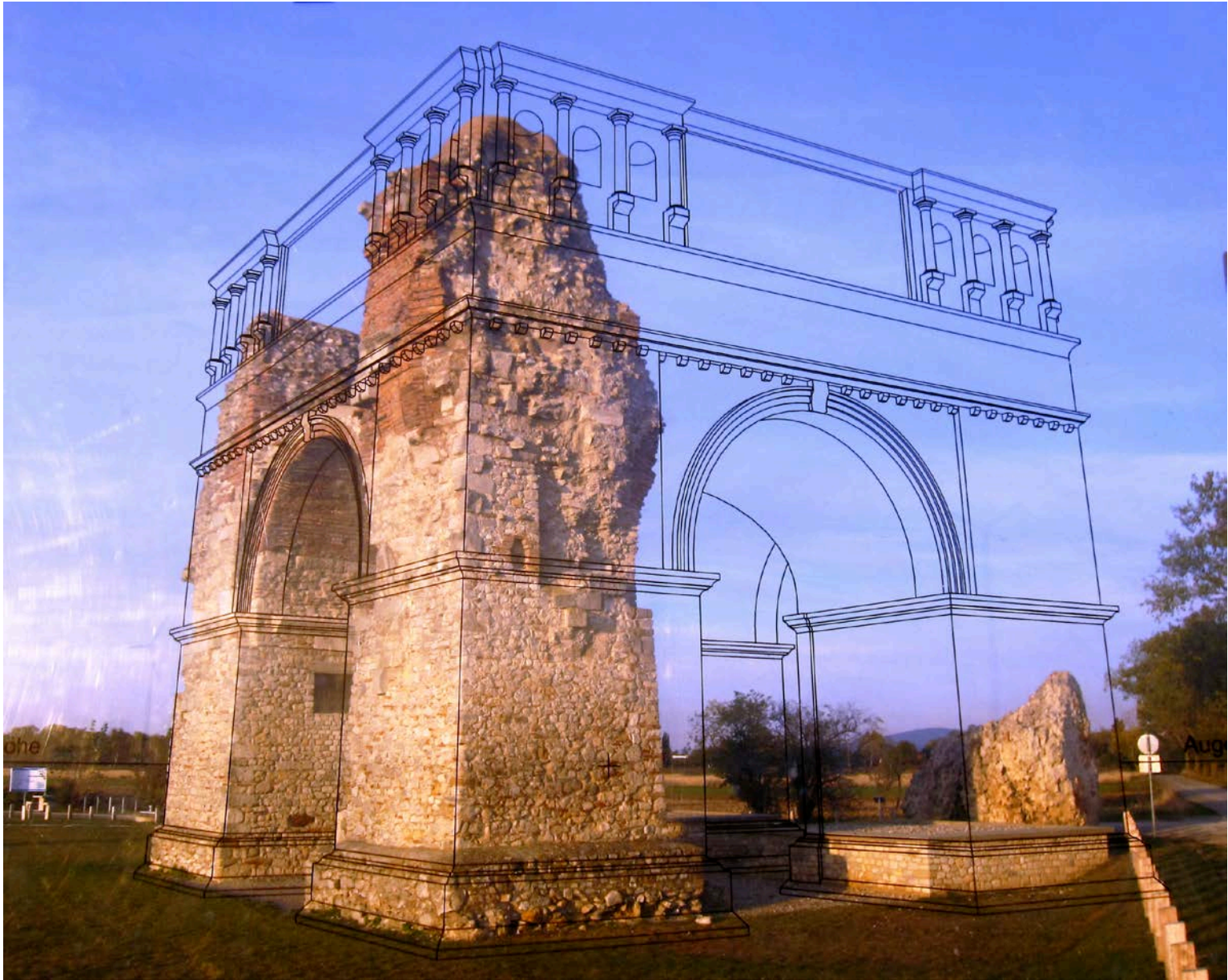


Photo by Gryffindor From Wikimedia Commons ref. 20171128
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Heidentor_Carnuntum_4487.jpg CC BY-SA 3.0

なぜ復元したがるのか？

三内丸山遺跡 (1990年代から2000年にかけて復元)



Photo by 663highland From Wikimedia Commons ref. 20171128
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:140913_Sannai-Maruyama_site_Aomori_Japan01bs6bs6.jpg CC BY-SA 3.0

吉野ヶ里遺跡(1989年と2004年に大規模復元)



五色塚古墳（もともと4世紀末から5世紀初建造; 復元完成1975年）



五色塚古墳（もともと4世紀末から5世紀初建造; 復元完成1975年）



五色塚古墳（もともと4世紀末から5世紀初建造; 復元完成1975年）



平城宮 朱雀門(1999年に復元)



平城宮 第一次大極殿（もともと8世紀竣工; 2011年に復元完成）

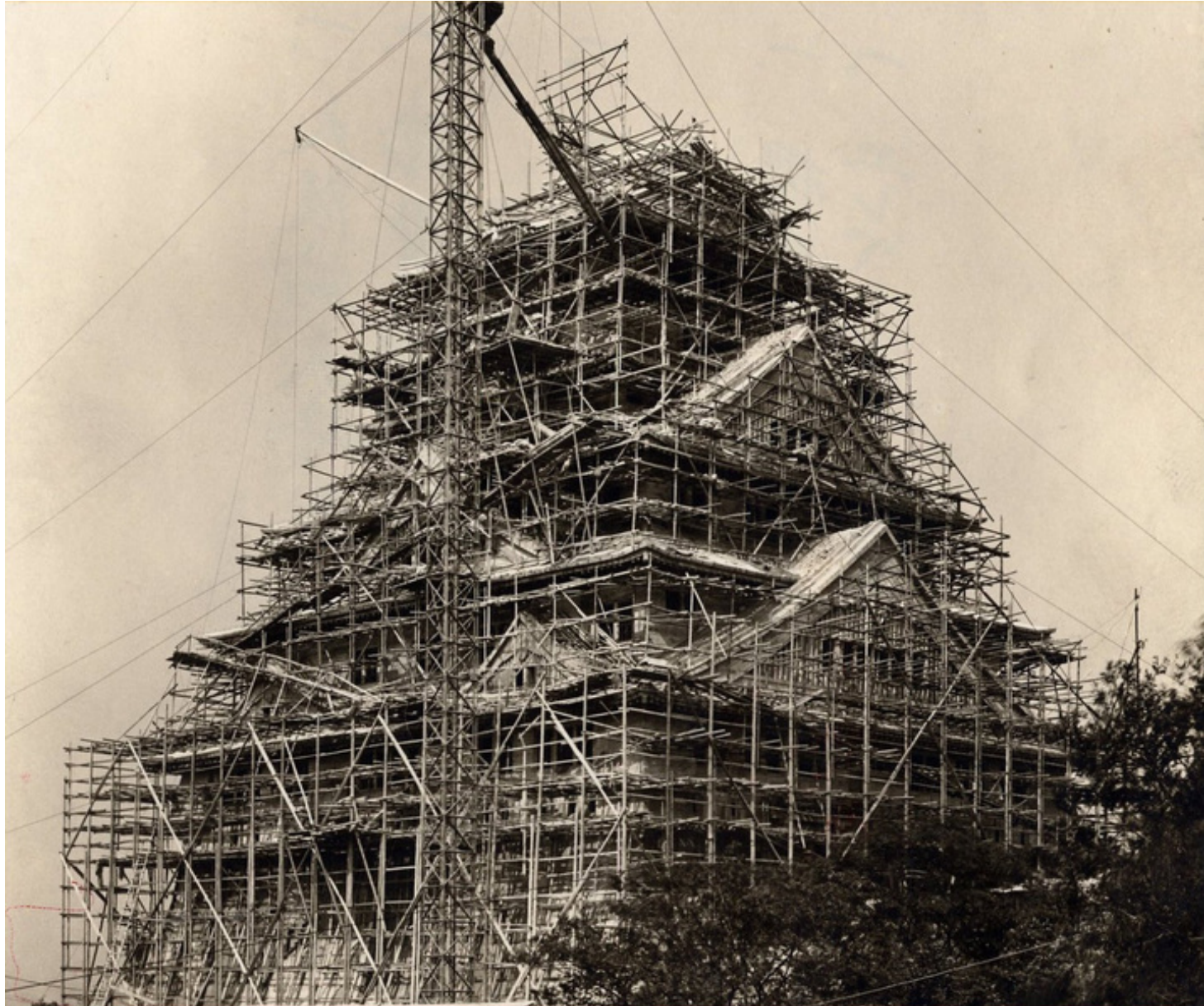


大阪城(1931年に再建天守が竣工)



Photo by 663highland From Wikimedia Commons ref. 20171128
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Osaka_Castle_01bs3200.jpg CC BY-SA 3.0

1931年



大林組
おおばや史
建設中の大阪城天守閣



旧新橋停車場(2003年竣工)



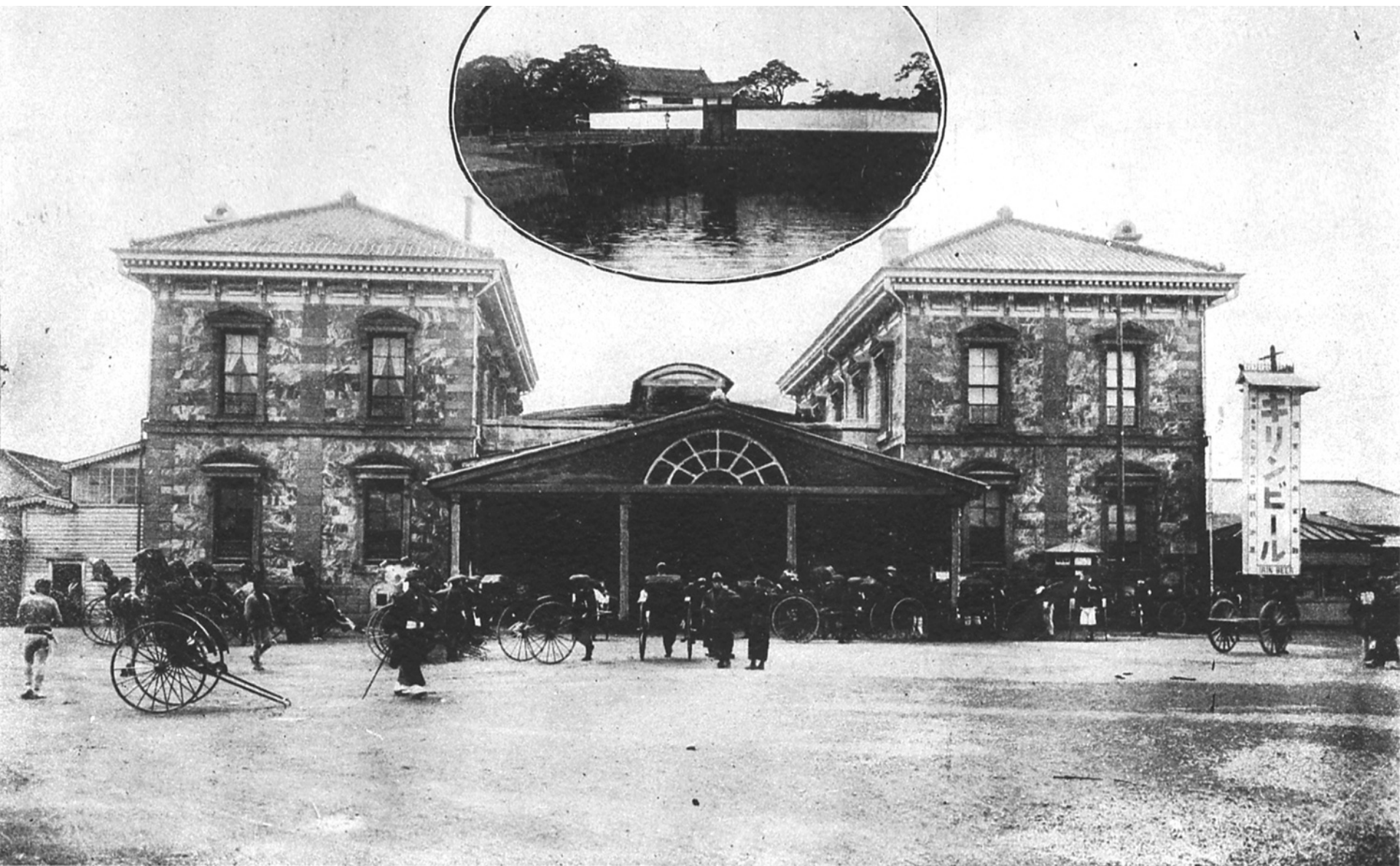
旧新橋停車場(2003年竣工)



旧新橋停車場(2003年竣工)



初代・新橋停車場(1872年竣工、1934年解体)



国立国会図書館 写真の中の明治・大正 新橋停車場

掲載資料: 最新東京名所写真帖()明治42(1909)

請求記号407-42

<http://www.ndl.go.jp/scenery/data/363/> ref. 20171128

旧新橋停車場(2003年竣工)



Photo by Toshihiro Gamo, from Flickr
<https://www.flickr.com/photos/dakiny/35023543056/in/photolist-VmUP9C-hbQXkQ-bSNF58-riCMig-dYw8es-bSNGji>
CC BY-NC-ND 2.0





駅舎玄関遺構

Station Building Entrance Remains

ここに残されているのは、正面玄関の階段の最下段として使われていた切石です。正面玄関の階段は9段あったことが、当時の写真から分かっています。

These dressed stones are the remains of the bottom step at the central front entrance of the station building, which period photographs show as having had 9 steps.



新橋駅の外観（当時の外国人居留地の情報誌ザ・ファー・イーストより）
（横浜開港資料館所蔵）

Exterior of Shimabashi Station from *The Far East Magazine*
(Yokohama Archives of History)

東京駅丸の内駅舎(2012年に保存・復原工事竣工)



東京駅丸の内駅舎(2013年撮影)



東京駅丸の内駅舎(2013年撮影)



東京駅丸の内駅舎(2005年撮影)



Photo by Chris 73 from Wikimedia Commons ref. 20171128
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Tokyo_Station_Marunouchi_side.jpg
CC BY-SA 3.0

東京空襲後の東京駅丸の内駅舎



Photo from Wikipedia Commons

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/6/63/Tokyo_station_disastrous_scene_of_after_Great_Tokyo_Air_Raid.jpg

東京駅丸の内駅舎保存・復原工事中(2009年撮影)



東京駅丸の内駅舎保存・復原工事中(2009年撮影)



東京駅丸の内駅舎保存・復原工事中(2009年撮影)



復原後の丸の内駅及び駅前に広がる広場のイメージ

Post-restoration perspective view of Tokyo Station Building and its front plaza area

復元された三菱一号館(2009年竣工)



Photo by Wish.F From Wikimedia Commons ref. 20171128
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mitsubishi_Ichigokan_Museum.JPG
CC BY 3.0

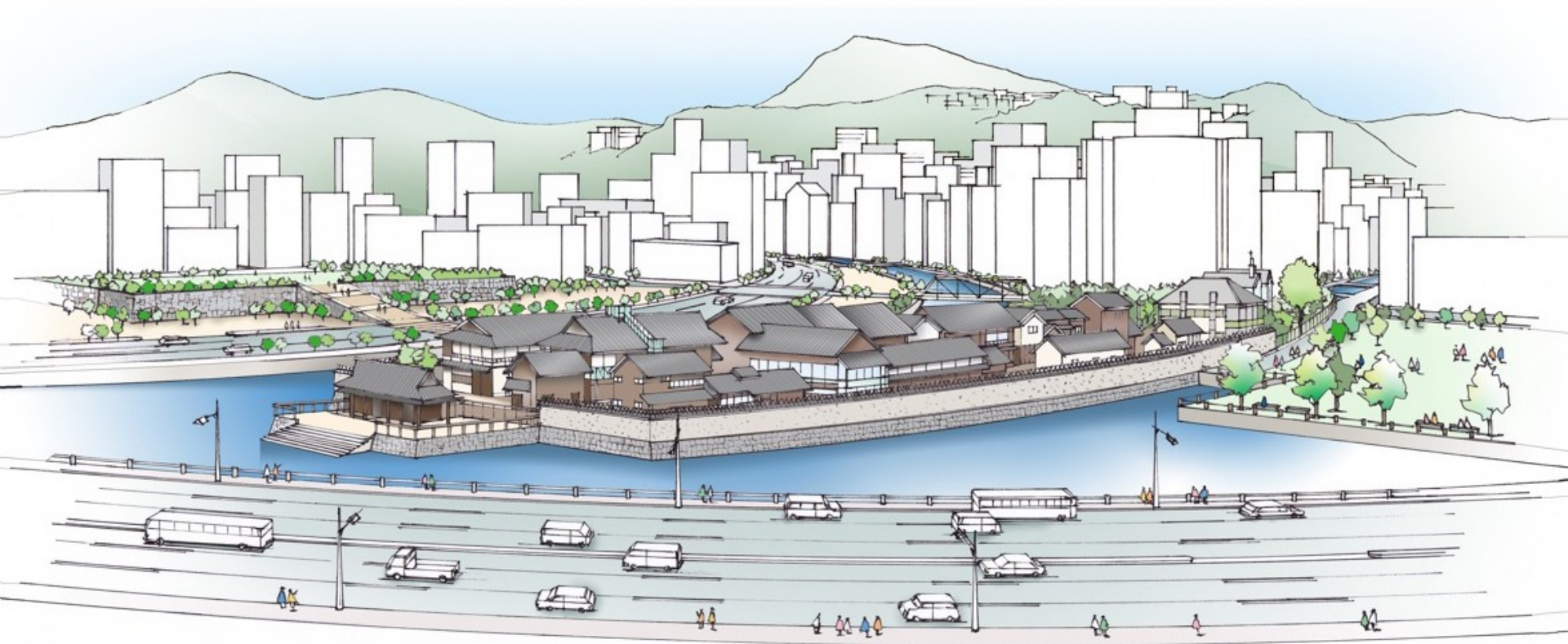
1880年代の丸の内(「一丁倫敦」と呼ばれた)

Josiah Conderがデザインした三菱一号館は1894年に竣工 → 1968年に解体



Image from The New York Public Library Digital Collections
A Street on the Modern Plan in Tokyo

長崎市による出島復元の最終イメージ (四方に水面を確保し、19世紀初めの扇形の島を**完全復元**)



画像提供: 長崎市文化観光部出島復元整備室

<http://nagasakidejima.jp/wp-content/uploads/2011/04/future-e1366763641828.jpeg>

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しました

2014年2月14日読売新聞(西部朝刊)
見出し

出島完全復元「2050年目標に」 長崎市長に提言
本文抜粋

長崎市の出島の復元計画を検討している市出島史跡整備審議会は13日、計画の見直し案をまとめ、田上富久市長に報告書を提出した。(中略)報告書では、出島築造から400年となる2036年を目標に、周辺の国道や路面電車の軌道などを移設。事業着手から100年目となる50年までに完全復元を目指すとしている。

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しました

産経ニュース 2017年4月24日 記事
河村市長、名古屋城天守閣の木造化「『2022年の完
成を進めろ』と市民からご命令」 4選一夜明け
[http://www.sankei.com/west/news/170424/wst170424
0035-n1.html](http://www.sankei.com/west/news/170424/wst1704240035-n1.html)

なぜ復元したがるのか？

なぜ復元したがるのか？
しかも、こんなにたくさん！

跡を考える



法文2号館北西ポーチ(1935年完成)



法文2号館北西ポーチ(1935年完成)



法文2号館北西ポーチ(1935年完成)



法文2号館北西ポーチ(1935年完成)



法文1号館北東ポーチ(1935年完成)



法文1号館北東ポーチ(1935年完成)



東京大学駒場教養学部101号館(1935年完成)



東京大学駒場教養学部101号館(1935年完成)



東京大学駒場教養学部101号館(1935年完成)



東京大学駒場教養学部101号館(1935年完成)







第一高等学校寄宿寮跡

このコミュニケーションプラザの敷地にはかつて旧制第一高等学校寄宿寮が存在した。

旧制第一高等学校(一高)は明治7年(1874)東京英学校として開校し、東京大学予備門(明治10年-1877)、第一高等中学校(明治19年-1886)を経て明治27年(1894)第一高等学校となり太平洋戦争敗戦後の学校制度改革昭和25年(1950)により廃止されるまで約2万2千名余の人材を送り出し我が国の発展に多大の貢献をした。

明治23年(1890)木下校長により本郷キャンパス(現在農学部)の寄宿寮での寮生による自治が認められ、その後第一高等学校廃止まで自治寮の制度は多くの困難を克服して、守られた。

昭和10年(1935)関東大震災を契機とした農学部との敷地交換によりこの駒場の地に移転したが、本郷の寄宿寮(8寮)は、新たな4棟の寄宿寮(南寮、中寮、北寮、明寮〔昭和14年増設〕)となり寮生約1千2百名による自治寮運営は継続された。

一高寄宿寮の特徴は入学生全員が寮の生活を送ること(所謂全寮制)にあった。生徒は全員入寮し、立法(総代会)行政(寄宿寮委員会)をすべて生徒の自主運営によったのである。寮生による懲罰委員会による退寮の決定は学校からの退学とされた。寮の規模は南・中・北寮が各階自習室・寢室10室(3階)、明寮のみ自習室・寢室5室(3階)であり、寮の間を結ぶ流り廊下からは本館(現1号館)、図書館(現駒場美術博物館)及び特高館(現101号館)への地下道が設けられた。この中庭にあるアーチは、地下道入口上屋の外壁の一部である。昭和24年(1949)学制改革により東京大学教養学部発足に伴い全寮制は廃止されたが、その後も東京大学駒場寮として寮生による自治は続けられた。



中寮跡地にあたる駒場コミュニケーションプラザ中庭では、柱礎位置に埋め込まれた照筒によって、中寮の位置を確認することができる。



下町風俗資料館付設展示場(旧吉田屋酒店)
1910年に建てられ、1986年まで谷中6丁目で営業、1987年に移築



吉田屋酒店旧地(谷中6丁目)



吉田屋酒店旧地(谷中6丁目)



吉田屋酒店旧地(谷中6丁目)

ここは谷中茶屋町二番地です。
桜木町に移築した旧吉田屋の跡地です。
昭和四十二年一月一日からの町名変更により
情緒ある町名が都内から消え去り
とても残念です。思い出がありました。
それでこの小さな三角地に
永く残した吉田屋への思いと
町名の名残りを留め置きたく
有るやうにオープン致しました。
かくてこの地がそうであつたように
これから多くの人々の笑顔が行き
交うことを願っております。

天茶町人

吉田屋酒店旧地(谷中6丁目)



吉田屋酒店旧地(谷中6丁目)



















**復元の根底には
かつてあったモノを偲ぶ感覚？**

医学部2号館(本館)(1936年完成)



医学部2号館(本館)(1936年完成)



医学部2号館(本館)(1936年完成)



史料編纂所(1928年から現位置)



玄関ポーチ外灯(2009年復元)



玄関ポーチ外灯(2009年復元)

東京大学史料編纂所 正面玄関ポーチ外灯復元事業

このポーチ外灯は、1928年（昭和3年）、内田祥三先生（第14代総長）の設計により建設された図書館棟の玄関に設置されていたものの復元である。第二次世界大戦中、軍への金属供出を理由にすべて剥がされ、戦後も長らくそのままの姿で残されていた。この度、附属図書館、社会科学研究所、史料編纂所、大学院情報学環の四部局は、図書館棟完成時の姿を復元し、昭和初期の本郷キャンパスの姿を未来への遺産として残したいと考えた。この事業は、東京大学基金の格別のご協力と、以下に掲げる方々からのご寄附により実現に至ったものである。東京大学は、ご寄附をくださった方々のご芳志を生かすべく、今後ともキャンパスの整備と充実に力を傾けていく。

寄附者名

株式会社紀伊國屋書店 株式会社清布ビジネス 株式会社内外切紙通信社 吉和商事株式会社
財団法人国語記念大学図書館振興財団 中西印刷株式会社 丸善株式会社
伊藤邦男 井上麗子 一力一夫 大久保貞義 大倉立雄 池田孝良 金政圭章 菊池謙昭 岸田勇 木村浩
熊谷一孝 玉城和夫 崎川典子 藤原孝正 柴田鉄治 島根清康 篠栗一郎 中島善雄 森崎愛 林典子
平松良典 松永文 宮崎刀史紀 高橋紀幸 吉田京二 吉村信寛
附属図書館教職員有志 社会科学研究所教職員有志 史料編纂所教職員有志 大学院情報学環教職員有志

2009年12月

北名古屋市歴史民俗資料館(通称「昭和日常博物館」)



北名古屋市歴史民俗資料館(通称「昭和日常博物館」)



北名古屋市歴史民俗資料館(通称「昭和日常博物館」)



北名古屋市歴史民俗資料館(通称「昭和日常博物館」)



北名古屋市歴史民俗資料館(通称「昭和日常博物館」)



北名古屋市歴史民俗資料館(通称「昭和日常博物館」)



松戸市立博物館(1993年開館)



昭和30年代の常盤平団地2DKの原寸大・再現展示

UTokyo Online Education 学術俯瞰講義 2017 松田陽 [CC BY-NC-ND](#)

滋賀県立琵琶湖博物館(開館1996年)
2016年7月にC展示室リニューアル → 「私たちの暮らし」展示



5-3

ねん
1964 年
のう そん く
農村の暮らし

Daily Life of a Rural Family in 1964

ねん しゅう ねん がつ 日
1964年(昭和39年)5月10日

ご ぜん じつ ひに ねん し ねん じょう ちやう
午前10時、彦根市本庄町で

暮らししていた富江さんご一家
の暮らしを再現しました。

This farmhouse scene reconstructs
the rural lifestyle as it was on May
10th, 1964, in Honjo, Hikone City,
Shiga.



滋賀県立琵琶湖博物館(開館1996年)
2016年7月にC展示室リニューアル → 「私たちの暮らし」展示



滋賀県立琵琶湖博物館(開館1996年)
2016年7月にC展示室リニューアル → 「私たちの暮らし」展示



自分は体験していなくても？

**復元の根底には
かつてあったモノを偲ぶ感覚？**



三内丸山遺跡 (1990年代から2000年にかけて復元)



「**古い**」ことの知覚

VS

「**懐かしい**」ことの知覚

「夏草や 兵共が 夢の跡」
松尾芭蕉『奥の細道』平泉、元禄2年(1689)5月13日



Photo from Wikipedia Commons

<https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/7/72/Tabasineyama%26kitakamigawa.JPG>

モノを介さずに過去を偲ぶ伝統

自分は体験していなくても？

**復元の根底には
かつてあったモノを偲ぶ感覚？**

**跡を跡のまま残すのではダメ？
なぜモノとしてその場に復活させる必要？**

ヴェンタ・イケノールム Venta Icenorum (1世紀後半-5世紀初), Caistor St Edmund, 英国



なぜ復元したがるのか？
しかも、こんなにたくさん！

自分は体験していなくても？

**復元の根底には
かつてあったモノを偲ぶ感覚？**

**跡を跡のまま残すのではダメ？
なぜモノとしてその場に復活させるのか？**

史跡の復元に関する「国際的」規範

“International” standards on the reconstruction of heritage sites

1931 アテネ憲章

Athens Charter

1964 ヴェニス憲章

Venice Charter

1990 イコモス 考古学的遺産の管理・運営に関する国際憲章

ICOMOS Charter for the Protection and Management of the Archaeological Heritage

世界遺産条約作業指針

Operational Guidelines for the Implementation of the World Heritage Convention

The Venice Charter for the Conservation and Restoration of Monuments and Sites (1964) ヴェニス憲章

RESTORATION

Article 9.

The process of restoration is a highly specialized operation. Its aim is to preserve and reveal the aesthetic and historic value of the monument **and is based on respect for original material and authentic documents. It must stop at the point where conjecture begins,** and in this case moreover any extra work which is indispensable must be distinct from the architectural composition and must bear a contemporary stamp. The restoration in any case must be preceded and followed by an archaeological and historical study of the monument.

Operational Guidelines for the Implementation of the World Heritage Convention 世界遺産条約作業指針

86.

In relation to authenticity, the reconstruction of archaeological remains or historic buildings or districts is justifiable **only in exceptional circumstances.**

Reconstruction is acceptable only on the basis of complete and detailed documentation and to no extent on conjecture.

なぜ復元したがるのか？
しかも、こんなにたくさん！

国際的規範＝西洋の規範に反しているのにも関わらず

Jean Baudrillard (philosopher)

Simulacra et Simulation (1981)

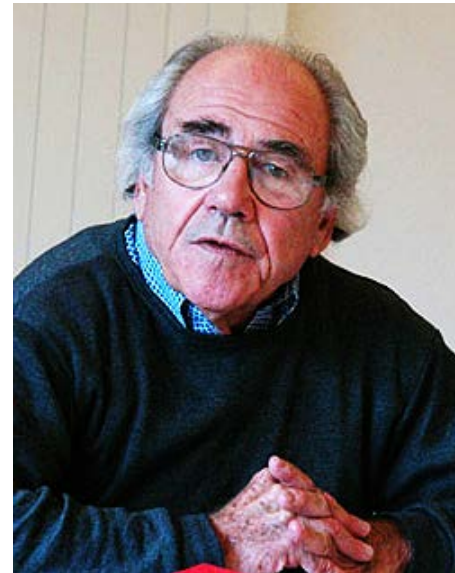


Photo by <http://en.wikipedia.org/wiki/User:Ayaleila>
from Wikimedia Commons ref. 20171129
<https://commons.wikimedia.org/wiki/File:WikipediaBaudrillard20040612-cropped.png>
CC BY-SA 3.0

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を削除しま
した

書籍の表紙
Jean Baudrillard, *Simulacres et*
Simulation
Paris : Éditions Galilée 1981

**In part driven by consumerism, our experience of the world
is increasingly mediated by signs**

著作権等の都合により、
ここに挿入されていた画像を
削除しました

書籍の表紙
Umberto Eco, *Faith in Fakes:
Travels in Hyperreality*
(Vintage; New Ed edition
1995)

Umberto Eco (semiotician)

Faith in Fakes: Travels in Hyperreality (1975)



Photo by Università Reggio Calabria from Wikimedia Commons ref. 20171129
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Umberto_Eco_04.jpg
CC BY-SA 3.0

(It is) not, “**We are giving you the reproduction so that you will want the original,**”
but rather,
“**We are giving you the reproduction so you will no longer feel any need for the original.**”

David, Michelangelo, 1501-4, marble, 4.34 x 5.17 m, Galleria dell'Accademia, Florence



Photo by Jörg Bittner Unna from Wikimedia Commons ref. 20171129
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:%27David%27_by_Michelangelo_JBU0001.JPG
CC BY 3.0



**Replica of David, Michelangelo, 1910, marble, 4.34 x 5.17 m,
front of Piazza della Signoria (original position), Florence**



跡を跡のまま残すのではなく、
モノとしてその場に復活させる

なぜこんなにたくさん？

国際的規範＝西洋の規範に反しているのにも関わらず

Simulacrum/simulacra シミュラクルかもしれないのに

なぜ？

1. 社会教育効果を求めて
2. オリジナルの技法を学ぶ、あるいは復活（継承）させるため
3. 「新しさ」を求めて
4. オリジナルをつくりだした、あるいは所有していた人／人々への敬意を示す、あるいはオリジナルとの縁・つながりを表すため
5. オリジナルのバックアップを残すため

なぜ？

1. 社会教育効果を求めて
2. オリジナルの技法を学ぶ、あるいは復活(継承)させるため
3. 「新しさ」を求めて
4. オリジナルをつくりだした、あるいは所有していた人／人々への敬意を示す、あるいはオリジナルとの縁・つながりを表すため
5. オリジナルのバックアップを残すため